

夏山予備山行 日帰り企画 笹子雁ガ腹摺山とお坊山

実施日 2011年7月18日(祝・月)
天候 曇り時々晴れ
リーダー 島本陳重、鈴木恵美子
参加者 佐藤金治、島本陳重、山崎富美恵、鈴木恵美子 計4名
費用 JR 570円(高尾起算)
タクシー 1,325円
タイム 大月駅(8:16タクシー)笹子雁ヶ腹摺山登山口(8:50)送電線鉄塔(9:12~9:17)笹子雁ヶ腹摺山(11:00~11:10)米沢山頂手前(12:00~12:30昼食)米沢山(12:45~13:00)お坊山(13:35~13:50)大鹿峠(14:20~14:30)景德院入口BS(15:50~16:11バス)甲斐大和駅(16:15)

今日の山行は、「雲の平」の予備山行の編笠山に行けないメンバーで、実施。三連休の最終日であったためか、往きの電車はガラガラ、途中出会ったのは、夫婦らしき二人組みだけであった。

笹子雁ヶ腹摺山登山口からしばらく植林帯を登って行くと、緑鮮やかな広葉樹林に入る。間もなく送電線鉄塔の立つ台地にぶつかる。赤ちゃん蛙が時折りぴよこぴよこ飛び歩く。大きな雨蛙にも遭遇。



そこからは急登の連続。やっと、マイクロウェーブ反射板(かなり塗料がはがれて古びた)が見え、ほっとする。それが見えたら頂上はもうすぐのこと。

花は少なかったが、山頂手前には、オカトラノオ、ヤマハハコなどが可憐な姿を見せてくれた。曇っていたため、山頂の眺望はあまりなかったが、雲の間から富士山が姿を見せてくれた。南アルプスも見えた。

笹子雁ヶ腹摺山山頂を後に快適な尾根道を行く。山アジサイが一面に咲いてきれいだ。北斜面だと今まで来た道とは段違いに涼しく気持ちよい。すぐに「道の駅甲斐大和」方面へ下る道があ



るが、お坊山方面への道標に従って東に進む。途中から、急登と急下降の繰り返しだ。米沢山まではまだ結構道のりが長いし、山では雨が降ってきたりすると食べられなくなるため、昼食はとれる時にとった方がよいといっているので、途中の小広い場所で昼食をとる。食事のタイミングも難しいと実感。



米沢山への登りは急な岩場があり、錆びた鎖がかかっている。段差が大きく、結構辛い。急登をすぎると米沢山山頂に着く。笹子雁ヶ腹摺山と米沢山の標高は70cmしか変わらない。今まで苦労は何だったんだと聞きたい気分。



米沢山山頂から3つほどピークを越えて、お坊山の山頂に着く。快晴ではなかったが、南アルプスが見える。お坊山の山頂から東へ進み、お坊山東峰への道を右に分けて大鹿峠へ向かう。時折り谷から吹いてくる涼風に生き返る。幅広い尾根をしばらく下ると大鹿峠に着く。景德院への道は金属の階段になっており、段差が少なく歩きやすい。尾根道を行き、しばらく下ると、人家の屋根らしきものが見えて、



ああ、もうすぐだとホッとします。人家だと思ったのは実は氷川神社だった。立派な鳥居をくぐり、里道を辿り、民家の庭先を通り、間もなく景德院に着く。バス停はすぐだ。新米リーダーとしての反省は多々ありますが、今日の一番の反省は、下ばかり見て歩いていると道を間違えるので、いつも周りをよく見ながら歩かなくてはいけないという事でした。

頼もしいベテラン元リーダー、ベテランリーダーのおかげで、楽しい山歩きができた、感謝です。参加された山崎さん、お疲れ様でした。

(記&写真・鈴木恵美子)